

平成30年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

たにぐち みつあき  
谷口 光暁 （59歳） 三重県立久居高等学校長

- ・ 公立高等学校教諭として地理歴史科・公民科教育の推進に尽力した。
- ・ 三重県教育委員会事務局主査、充指導主事、室長を務め、本県の教育活動の充実のみならず、本県教育行政の刷新に尽力した。
- ・ 公立高等学校長として、北星高等学校では、定時制と通信制の一体的な運営により、多様な生徒が安心して学べる環境の整備に尽力した。平成26年度には、学校経営品質プロジェクトチームを立ち上げ、「ユニバーサルデザインの学校づくり」を掲げ、不登校生、中途退学生、軽度発達障がいのある生徒など多様な生徒を受け入れるための学校づくりを進めた。久居高等学校では、スポーツ科学コースと進学クラスであるチャレンジコースを学校経営の軸とするとともに、普通コースでは、看護モデルコースや公務員モデルコース等を設置するなどの改革に取り組んだ。また、部活動の振興にも尽力し、平成27年度には、陸上とレスリングで全国大会優勝者を輩出するなどの結果を残している。
- ・ 三重県立学校長会会長、副会長、三重県高等学校長協会会計として同会の運営に尽力した。

平成30年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

にしむら しげる  
西村 茂 （60歳） 大台町立日進小学校長

- ・公立小学校教諭として、生徒指導に尽力し、児童一人ひとりの個性、家庭環境に応じた指導を行った。へき地小規模校に在籍した際は、複式学級の授業について研究し、2学年を交互に指導するために直接指導と間接指導の内容を充実させるなど、学習指導を無理なく効率的に行う授業等に積極的に取り組み、学力向上に取り組んだ。
- ・三重県教育委員会小中学校教育室充指導主事として、県内の小中学校における様々な就学事務に関する事例に適切に対応した。また、生徒指導健康教育室充指導主事としてスクールカウンセラーの適切な配置に取り組んだ。
- ・三重県教育委員会生徒指導・健康教育室副室長として、県内で起こる生徒指導上の課題について具体的な対応策を指示し、生徒指導員等の人的支援派遣を行った。また、スクールソーシャルワーカーの確保に努め、県内の学校に心理面・福祉面から支援を行う体制を整備した。
- ・公立小学校長として、個性を重視する教育に取り組み、児童一人ひとりに応じたきめ細かな指導を定着させるとともに、全校児童のつながりを大切にした縦割り班活動を推進した。また、郷土について学ぶために多くの地域人材を確保し、学年に応じた体験活動を推進した。
- ・平成30年4月から三重県小中学校長会会長を務め、三重県小中学校長の中心的な存在となり力強いリーダーシップを発揮し、三重県における教育課題の解決に向け尽力している。

平成30年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

ふかみ みつひろ  
深見 充弘 （59歳） 松阪市立殿町中学校長

- ・公立中学校教諭として、数学科の指導方法の研究と実践に取り組むとともに、それぞれの赴任校で職員の中心的な存在となって校内研修の推進に努めた。また、生徒指導では、生徒や保護者との関係づくりを大切にしながら実践を重ねた。誠実で温厚な人柄による指導は、生徒のみならず保護者や同僚からも大きな信頼を得た。
- ・公立中学校教頭として、中学校区の児童生徒の基礎学力の定着や基本的な生活習慣の確立のため、指導内容等の共有を図るなど、関係学校・園との連携を改善し、校区内の教育充実に貢献した。
- ・三重県教育委員会市町教育支援・人事監として、津・松阪地域の教職員の効果的な配置や服務規律の確保に尽力し、管内学校の活性化を人事の面から実現すべく精力的に取り組んだ。
- ・公立中学校長として、三重県松阪市立嬉野中学校、三重県松阪市立殿町中学校の校長を歴任し、地域や保護者との対話を大切にされた学校づくりに注力した。特に殿町中学校では、ICT機器を活用して生徒同士が互いに学び合う協働学習を推進し、生徒の学習意欲向上など大きな成果をあげた。
- ・平成29年4月から三重県小中学校長会副会長兼中学校部副会長、平成30年4月から同副会長兼中学校部会長を務め、三重県小中学校長の中心的な存在となってリーダーシップを発揮し、三重県における教育課題の解決に向け尽力している。

平成30年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

しもむら かずゆき  
下村 和之 （63歳） 学校法人エスコラピオス学園  
海星中学校・高等学校 校長

- ・9年間の教頭経験、4年間以上の校長経験の中で、少子高齢化の中、学校経営を支えた。
- ・数学科教員であるにもかかわらず、三重県私学協会において、社会科専門部会の長として尽力している。
- ・三重県の公立高等学校および私立校高等学校の定数検討会の私学側代表として、意見集約および調整に努めている。
- ・本校の進路指導部長の際に、普通科の中に進学特別コースと進学コースとを分けて設け、生徒の進路希望に沿った教育体系を構築し、今もその制度を発展させている。
- ・本校の教頭の際に、クエスト・エデュケーションを導入し、また、キャリア・マップを整備・構築し、いち早くキャリア教育の柱を完成させた。
- ・本人はカトリックの信者ではないが、宗教教育の長所や優秀性を認め、本校で創立者劇を立ち上げ、現在も継続・発展させている。
- ・校長になり、四日市市と提携した地球環境塾をはじめ、Saturday English School を行い、アクティブ・ラーニングや英語4技能の向上など、時期に即した新しい教育をスタートさせるとともに、バスケットボール部やサッカー一部において、教員経験者を部活動指導に従事させるなど学校の働き方改革にも適した雇用形態の創出にも力を発揮している。